

東城自治振興区だより

第158号
令和8年4月5日発行

東城自治振興区 庄原市東城町川東1188-2 TEL/FAX 08477-2-0487
ホームページ <http://tojyo-apd.main.jp/> メール tojyo@aioros.ocn.ne.jp



第13回東城自治振興区まつり ～人が輝き 地域が輝く～

東城自治振興区では、自治会と生涯学習教室が日頃の学習の成果を発表する「第13回東城自治振興区まつり」を開催しました。

前号に引き続き、「第13回東城自治振興区まつり」ステージ発表の様子をお伝えします。

2月28日のステージ発表は、生涯学習教室13団体、自治会1団体、東城保育所の全15団体が踊り・歌・演奏・体操などを披露し、様々な演目で盛り上がりました。



ふるさと今昔講座 ～第12回講座～

講師 近藤 芳弘 氏

ふるさと今昔講座を3月10日（火）東城自治振興センターにおいて開催しました。
近藤芳弘さんが「帝釈宇山の長者伝説の謎」と題して講演されました。

今回の講演では、「東城の昔話」に収録されている高柴長者と大倉長者の昔話から、地域の歴史を探り、地理的なこと歴史的なことを皆さんと一緒に考えていきました。

この地域は、たたら製鉄で 繁栄してきた町です。たたら製鉄の伝説に関わる長者伝説の話が、文禄時代のことで、帝釈の西宇山に兄弟で住んでおり、その家の所在がほぼ想定されています。

そしてまわりには、その長者に関係した寺屋敷や金屋子さんの祠も確認されています。それらに関わる大倉観音堂などを写真で確認していきました。しかしながら、それほどはっきりしているのに、いたかどうかも分からないとされてしまっています。

この話やこれまでの解釈『むかしの帝釈』の記述をもとにして、現在新たに開発された赤色立体地形図を活用し、新手法で長者伝説に迫っていきました。

赤色立体地形図は、木や家が写らず、地図や航空写真ではわからない地形そのものを見ることができ、兄弟の住んでいたと考えられる場所を見るとともに、これまでの文書を検証しました。

その中で、大倉・高柴が兄弟の名前でない可能性が出てきました。新たな発見。昔話から解明する東城の歴史。長者伝説に迫る講座を5月に引き続き持ちます。

新手法と地域で言い伝えられてきたことを基に、さらに長者伝説を解明していきます。予想外の結末がこの次の講座で示されるとのことです。

今後も地域の疑問から歴史を紐解き、ふるさと今昔講座ならではの切り口で追究し、一つでも解明できればと思いました。

ふるさと今昔講座会員



ウーマンカレッジ

～令和8年3月の行事～

3月のウーマンカレッジ行事は、ウーマン会員でもあり、市議会議員をされている近藤久子さんのお話を聞こうと企画しました。

このところ暖かい日が続く、東城の桜も蕾が膨らみ、春のお出かけ日和の3月30日（月）ウーマンカレッジ会員26名の皆さんが参加、出席率84% Goodです。

さて、近藤さんのお話、「庄原市が合併して20年、議員19名中、女性議員は自分を含め3名います。今から80年くらい前に初めて女性に選挙権が与えられ、また、参政権が与えられていても、依然女性議員がゼロの市町村もあります。

幾度となく悔しい思いをしながら、議員を続けてきましたが、今はお互いに意見を出し合える雰囲気があります。4月の庄原市職員の異動で東城の支所長は女性になりました。

管理職に女性が登用されることはうれしいし、頑張っていたきたいと思いません。」と語られました。

配られた庄原市の児童生徒数一覧表を見て、だんだんと子どもの数が減っていく現状、学校の統廃合や複式学級、何が子どもたちにとって一番いい方法か考えさせられます。また、不登校や引きこもり、社会の様々な問題が浮かんできます。ウーマンの一人として今、一番気になることは「健康寿命と食べること」それぞれに好き嫌いがある中、精神衛生上は好きなものを食べたいものです。平均寿命が85歳を超え、耐え忍んだ人間関係も我慢するばかりではなく

「言いたいことは言う、だまっていたら何も変わらない」を実践しましょう。これはひとつの進歩です。90分も立ち続けたまま、身振り手ぶりで話しをされる近藤さんの姿に、「心も体も元気に生き活きと自分らしく暮らそう」というウーマンカレッジの原点が見えた気がしました。(s)





4月19日(日) 9:30~15:30

会場: 庄原市東城自治振興センター

- 大型紙芝居・中型紙芝居・パネルシアターなど
山の子会手作り 全 41 作品の展示・活動紹介展示
- 上演 午前の部 11:00~
午後の部 14:00~



案内チラシ



★ 来場者全員に 記念品プレゼント

無料カフェ お菓子つき

どなたでもどうぞ ♡♡



主催: 庄原市東城自治振興区 山の子会
 庄原市東城町川東 1188-2
 Tel 08477-2-0487



行事名	とき	4月からの行事内容
ふるさと今昔講座 (講座は会員以外でも受講できます)	4月14(火) 13:30~	<ul style="list-style-type: none"> 令和8年度ふるさと今昔講座開講式・総会 第1回講座 「備後の山城について」 講師 杉本 憲宏 氏 東城自治振興センター 研修室
	令和8年度ふるさと今昔講座生を募集しています 年会費：3,000円 申込用紙は東城自治振興センターにあります。	
ウーマンカレッジ	4月20(月) 10:00~	<ul style="list-style-type: none"> 令和8年度ウーマンカレッジ開校式・総会 東城自治振興センター 研修室 参加費：1,000円 音楽グループ「えぶろん♪」さんの演奏会
	令和8年度ウーマンカレッジ受講生を募集しています 対象：東城地区在住の女性 年会費：3,000円 申込用紙は東城自治振興センターにあります。	
しごんぼ隊	令和8年度しごんぼ隊員を募集します 年会費：1,000円 対象：東城小学校児童 申込用紙は東城小学校にて配布します	
山の子会	令和8年度 山の子会会員を募集します 年会費：無料 対象：どなたでも アンケート用紙(申込用紙)はセンターにあります。	
東城自治振興区	4月24(金) 19:00~	<ul style="list-style-type: none"> 令和8年度東城自治振興区総代会 東城自治振興センター研修室



真ん中の美味しい所だけ食べた葉っぱの跡

しごんぼ隊 ~77イッパグーム~



やけどの跡のようになる体液を出す虫(蟻)

しごんぼ隊は、令和7年度の最後の行事として北広島町壬生で行われた「里山生き物観察会」に参加しました。東城自治振興区の山田マネージャーが関わっている団体の活動です。

お天気にも恵まれ総勢20人。自然史専門員の原さんの案内で2時間をかけ野山を散策しました。まるでエビフライの様なものがあります。

これは松ぼっくりをリスが食べた後だそうです。同じ松ぼっくりでも食べ方の雑なのはムササビ。などと面白いお話がたくさん聞けました。他にも巣箱を設置すると鳥だけでなく、ムササビやテン、が住み家にする事もあるみたいです。

知らず知らずの内に2時間が過ぎ、子ども達も楽しくすごせました。(K)



エビフライの形をした松ぼっくり



ムササビの住み家